

公共施設再編に関する基本的な考え方(素案)に対するご意見と市の考え方

	ご意見の要旨	市の考え方
1	<p>素案で掲げる3つの目的を実現するために、公会堂の建て替えと吉祥寺南口の再開発とを連携、連動させる取り組みが大変有効であると考えます。公会堂用地については吉祥寺南口のまちづくりに資する高い潜在力を有しており、行政と民間等の役割の整理の観点や未・低利用地の利活用の観点から、何らかのまちづくり活動との連携、連動が必須であると考えます。</p>	<p>吉祥寺地区では、公会堂の建て替えや吉祥寺駅南口の再開発だけではなく、イースト吉祥寺のまちづくり等の課題もあります。また、公会堂については、市全体におけるホール機能の在り方も併せて検討しなければなりません。これらを総合的に勘案し、吉祥寺駅周辺を一つの面として捉え、吉祥寺のまちづくり全体を視野に入れた検討が必要です。その際には、行政と民間等との連携も併せて検討していきます。以上の考え方を、(6) 駅周辺の面的整備にまとめました。</p>
2	<p>今後、市で公共施設を永く継続使用(原則60年の長寿命化)するには、主要構造部の耐久性はもとより、非構造部材である窓の劣化情報を正確に把握し、今後必要とされる保守のための純正部品の確保や調達を可能ならしめ、適切な保守を維持していく必要があると思います。</p>	<p>主要構造部だけではなく非構造部材についても安全性を保持することは、長寿命化に必要な不可欠と考えています。市では、建築基準法に定める定期点検や劣化調査を毎年実施し公共施設の安全性を確認していますが、これまで必ずしも明確でなかった非構造部材の安全基準について、国でも検討が進められています。今後もこれらに基づき適切な維持保全に努めてまいります。</p>
3	<p>日頃の点検や、変化する施設への要望や対策について、地域や施設現場との協働、減築、分築、スケルトンインフィル、オープンビルディングなどにより、地域力も活用し、無駄なく街区をデザインし、活性化するというような創造的な保全の仕組みを、市の公共施設の再編方針に取り入れてほしいと思います。</p>	<p>いただいたご意見の趣旨は、市としても重要な課題と考えます。そのため、再編の考え方の中で、施設サービスの提供主体を民間等へ移行することや官と民の連携を検討することを掲げています。また、スケルトン・インフィルなどを踏まえ、その時々ニーズに合った性能を備えるだけでなく、市民が永く愛着を持つことができる魅力的な地域の拠点として整備していくことも掲げています。以上の考え方を、(4) 100年利用できる新たな施設建設及び(5) 行政と民間等の役割の整理にまとめました。</p>
4	<p>施設サービスを民間に移行していくにあたって、民間と市直営とをよく比較・検証し、その実態について公表して欲しいと思います。100年利用できる施設を目指すのであれば、「基本的な考え方」をきちんと定め、それにふさわしい建物にして欲しい。</p>	<p>施設サービスを民間へ移行する場合、民間と市直営どちらが効果的・効率的か検証する必要があると考えます。これから全市的議論を進めていく中で、市民の皆さんと積極的に情報共有を行ってまいります。 また、100年利用できる施設を目指すにあたっては、基本的な考え方に基づき、長期的な視点で計画的に整備を実施していく必要があると考えます。</p>
	<p>素案には基本的に賛成です。これからの人口および税収の減少を考えると総量を削減していくのは仕方がないことだと思います。ただ、支出を抑制しながらも市民が利用しやすいと感じられる効果的な施策を、他の自治体での取り組みなども広く参考にしながら、ぜひ検討していただきたいです。</p>	<p>今後、税収は一定となる一方、社会保障関連費は増大する厳しい財政環境が予測される中で、市民生活を支える施設サービスを安定して提供し続けるためには、施設総量の縮減が必要と考えます。また、統廃合や機能の集約化といった手法により施設総量の縮減を図るとともに、時代のニーズに応える施設サービスの提供や新たな都市文化を創造する場の提供も行っていきます。以上のことを実行に移すにあたっては、先行自治体の動向や有識者の意見も参考に検討していきます。</p>
5	<p>○小規模施設の活用 維持管理コストの高い大型施設を建設するのではなく、小規模施設とするか、民家や商業施設のスペースを利用することで、時代や地域のニーズへのきめ細かい対応や不要事業の撤収をしやすいためと思います。</p>	<p>時代や地域のニーズの変化へ対応していくためには、施設建設ありきで考えるのではなく、民間等も含めた既存施設の活用や施設サービスの検討が必要になると考えます。以上の考え方を、(3) 既存施設の有効活用と総量縮減、(5) 行政と民間等の役割の整理にまとめました。</p>
	<p>○運営や広報の見直し 施設を有効利用していくには、単に建物の話でなく、共通の目的目標に向かい、それぞれの運営者、事業者が連携しあい、有機的につながるよう、「横」のつながりを強化する仕組み作りが必要だと考えます。</p>	<p>効果的・効率的な施設運営を実施していくために、関係者が共通の目的目標を掲げ、情報を共有し連携を図っていくことが必要と考えます。市では、子ども・教育、文化などの各分野内に限定せず、その枠組みを超えて、さらに行政や市民活動団体、民間企業など多様な主体間の連携を促進し、提供される公共サービスを横断的・連続的に一覧できるようにする取組みを、行財政改革アクションプランで進めていきます。</p>

公共施設再編に関する基本的な考え方(素案)に対するご意見と市の考え方

	ご意見の要旨	市の考え方
	<p>○市民活動の促進、育成 長期的に考え、市民団体もしくは市民一人ひとりの主体性が、支出の抑制と市民ニーズの充足の両方を満たすには欠かせないと思います。上記の横のつながりを強化する中で、市内NPO団体や個人を組み込んでいくべきだと考えます。</p>	<p>高齢者・障害者支援や子育て支援、健康・スポーツ関連など、民間等による施設サービスが期待できる分野においては、その提供主体を民間等へ移行することを検討していきます。また、必要に応じて市内NPO団体や個人との連携の可能性を探り、市民活動の促進へとつなげていきます。以上の考え方を、(5)行政と民間等の役割の整理にまとめています。</p>
5	<p>○市の目指すビジョンに沿った事業と施設の選択と集中 公平性の確保も理解できるのですが、市に何でもなくてはならないのでしょうか。極端に言えば、高齢者福祉関連施設は自前で持つが、文化芸術活動の促進は、施設を他から借りたり、事業委託によって遂行するなど、地方自治にも特色がいわれる中、メリハリをつけてもよいのでは、と考えます。</p>	<p>市は、長期計画において市のビジョンを掲げ、事業を実施しています。そのビジョンを実現するために、公共施設においても効果的・効率的な選択と集中を行っていきます。その際には、三層構造に基づく施設配置や近隣自治体との広域連携、民間活力の活用も視野に入れ、検討を進めていきます。</p>
	<p>○公共施設とはなにか 施設を作るのではなく、ITの利用や公園のような空間作り、もしくはお金の投資などによっても、市民活動を支えることはできるのではないのでしょうか。</p>	<p>公共施設というハード面だけではなく、ITの活用等ソフト面も含め、総合的な視点をもって市民活動を支えていくことが必要と考えます。活力ある地域社会の形成に欠かせない市民・民間企業など多様な主体による自立した活動が最大限発揮されるように、行政は様々な形で支援を行っていきます。</p>